

2025 年 12 月 16 日

各 位

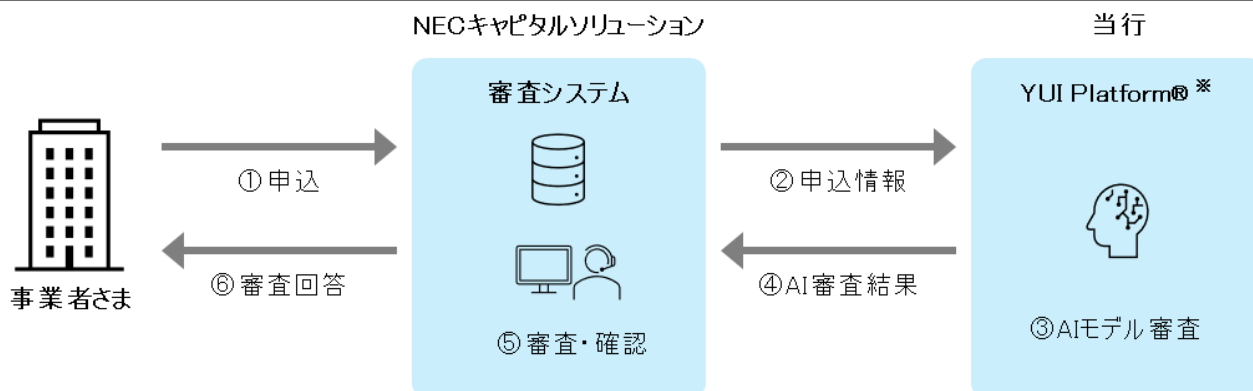
株式会社 SBI 新生銀行
NEC キャピタルソリューション株式会社**SBI 新生銀行と NEC キャピタルソリューションが連携し、AI による与信審査業務の高度化を推進**

株式会社 SBI 新生銀行（本社：東京都中央区、代表取締役社長：川島 克哉、以下「SBI 新生銀行」）は、持分法適用関連会社である NEC キャピタルソリューション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：菅沼 正明、以下「NEC キャピタルソリューション」）と連携し、NEC キャピタルソリューションが提供する「小口リース」の与信審査業務に対し、AI 技術の活用を開始しますので、お知らせいたします。

このたび、SBI 新生銀行が開発した AI 審査ロジックと、NEC キャピタルソリューションの豊富な審査ナレッジとを組み合わせることで、SBI 新生銀行グループの統合 AI プラットフォーム「YUI Platform®」※上に独自の与信審査モデルを構築しました。この与信審査モデルを NEC キャピタルソリューションの「小口リース」の与信審査業務に適用することにより、審査業務の約 20%を自動化するとともに、審査精度の向上と、回答までに要する期間の短縮化を図るものです。今後も、さらなる改善を進めてまいります。

<本 AI モデルの利用イメージ>

審査システムと YUI Platform®を連携させることで AI モデルによる審査が可能となります。



※YUI Platform ®・・・SBI 新生銀行グループの統合 AI プラットフォーム。グループ各社で、本システムを用いたさまざまなデータ分析や AI 開発・実行を進めています。

NEC キャピタルソリューションは、グループビジョン 2030 において「次世代循環型社会をリードする Solution Company」を掲げています。その実現に向けた中期計画 2025 では、経営基盤強化の取り組みの一環として、DX による業務品質と効率性の向上を推進しています。今回の「小口リース」における AI 導入は、その重要な施策のひとつとなります。

SBI 新生銀行は、SBI グループが進める第 4 のメガバンク構想における「広域地域プラットフォーム」の中核銀行として、日本全国の地域金融機関と連携し、各地域のさまざまな課題解決に取り組んでおります。SBI 新生銀行では今後、地域経済・社会の持続的な発展に一層寄与すべく、本取り組みによる AI 技術提供の知見をもとに、金融ソリューションと AI・デジタル技術を組み合わせたサービスを地域金融機関にも展開してまいります。

SBI 新生銀行と NEC キャピタルソリューションは、先進的なデジタル技術の活用を通じて、グループ内シナジーを最大化し、“次世代金融”の提供に取り組んでまいります。

以 上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp
投資家のみなさま SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp

NECキャピタルソリューション株式会社 コミュニケーション部
報道機関のみなさま: ir@dm.necap.co.jp